



かもみーる通信

82号

2017年4月

CONTENTS

- * 男女共同参画推進室ご紹介
- * カモミール月曆
- * 英語科学論文読解セミナー
- * サイエンス夢追人育成プロジェクト
- * 「仕事と介護の両立に向けて」
- * リーダーシップ研修
- * 人財バンク/研究補助員配置制度
- * カモミール・ミーティング
- * 保育園たより

男女共同参画推進室ご紹介

新年度を迎え、教育学部の室員が田村知子さんから森本真紀さんに交代しました。また、工学部事務長に異動となった清水則之さんの後任として、早野美里 職員育成課長が着任。男女共同参画推進室も新しいメンバーでのスタートです。どうぞよろしくお願いいたします。

男女共同参画推進室員



林 正子
副学長・室長
地域科学部 教授

— 担当 —
総括、事業報告
地域連携



森本 真紀
教育学部 准教授

— 担当 —
学生組織立ち上げ



松尾 幸忠
地域科学部 教授

— 担当 —
研究補助員配置制度



森田 浩之
医学系研究科 教授

— 担当 —
障がいのある構成員への
取り組み



高橋 由起子
医学部看護学科
教授

— 担当 —
学童試行の検討・実施



田中 雅宏
工学部 准教授

— 担当 —
サイエンス夢追い人
育成プロジェクト



椎名 貴彦
応用生物科学部
准教授

— 担当 —
学童試行の検討・実施
サイエンス夢追い人
育成プロジェクト



加納 亜紀
保健管理センター
助教

— 担当 —
研究補助員配置制度
メンター制度
生涯支援



魏 永芬
流域圏科学研究センター
准教授

— 担当 —
外国籍教員増加への
取り組み



伊藤 弘司
人材開発部長

— 担当 —
研究補助員配置制度
岐阜大学基金の運用
女性管理職の比率向上



相原 征代
特任助教

— 担当 —
統括コーディネート
フォーラム、セミナー
各種相談対応

男女共同参画推進室

WEB
<http://www1.gifu-u.ac.jp/sankaku/>

E-mail
sankaku@gifu-u.ac.jp



カモミール月曆 (室長からのメッセージ)



副学長(多様性人材活力推進担当) 林 正子

キャリアアップを考える季節

リーダーシップ研修報告 * リフレクション・ポイント研修制度紹介

3月6日(月)、全学共通教育棟アクティブ・ラーニング教室にて、「リーダーシップ研修」を開催しました。文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」の「女性研究者の上位職への積極登用に向けた取り組み」に対応する企画でしたが、4連携機関の女性研究者にとどまらず、岐阜大学からは30名を超える事務系女性職員の方々が参加してくださいました。

講師としてお招きしたのは、NTTコミュニケーションズ(株)常勤監査役の小林洋子氏。NTT初の女性取締役である小林氏は、長年にわたるキャリア経験にもとづき、上位職・管理職に就くことのメリットや魅力的なリーダーシップ論を生き生きと展開してくださいました。

- ◆ 異動をとおして多岐にわたる職務内容を経験するうちに、自分では気づけなかった潜在能力が発揮され、自分の可能性に自信が持てるようになる。
- ◆ 自分の考えをもって日々の仕事に取り組みれば、仕事が楽しくなる。キャリアアップにより自分の裁量でできる業務の範囲が広がり、仕事の楽しさが増す。
- ◆ 「肩書き」がつけば、仕事を通して自分の世界が広がる。それまで得られなかった情報や人的交流を得ることができるようになり、組織全体、仕事全体を展望することができる。
- ◆ 増えた所得でなりたいたい自分になることができる。経済的なゆとりによって、むしろ家事や育児と仕事の両立はしやすくなる。

受講した女性職員の方からは、「背中を押していただいたように感じて元気が出ました。いろいろと前向きに考えていこうと思います」という声をはじめ、賛辞の数々が寄せられました。それぞれの参加者にとって、仕事のやり甲斐や上位職へのモチベーションが喚起され、非常に意義深い研修となったようです。

折しも、4月1日付けで、岐阜大学では「一般職員リフレクション・ポイント研修制度」細則が施行され、対象者(勤続10年以上11年未満の一般職員で40歳未満)に通知されたところです。

この制度は、岐阜大学の教育研究活動等において中核的な役割を果たすことが期待されている中堅職員の一層の活躍を促すことを趣旨としています。当該の職員は岐阜大学で10年勤続後に、それまでの成果を振り返るとともに、さらに10年後の目標を設定する契機として、他の大学・研究所・教育研究機関に2泊3日程度の「リフレッシュ出張」をおこないます。この「リフレッシュ出張」によってミドルリーダーとしての意識づけをおこなうとともに、大学改革への意欲を喚起することが期待されています。必要旅費(上限額7万円)は大学本部で負担します。

今回新設された「リフレクション・ポイント研修制度」が、事務系職員のキャリアパスを支援する実効性のある制度となりますよう願ってやみません。

この春、構成員ひとりひとりが自らのキャリアパスを改めて考えることによって、岐阜大学将来ビジョンの実現に向けて、構成員の力が結集されますように――。



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」



英語科学論文読解セミナー



英文校正・論文投稿支援などを手がけるエダズグループ
ジャパン株式会社から講師を招き、セミナーを開催します。

参加無料

日時: 5月20日(土) 9:00~15:00
場所: サテライトキャンパス 多目的講義室(中)

詳細は「清流の国 輝くギフジョ」支援プロジェクトWebサイトでご覧いただけます。

<https://diversity.gifu-u.ac.jp>



サイエンス夢追い人育成プロジェクト

(女子大学院生による出前講義)

女子大学院生の皆さんに、県内の中・高等学校で自らの研究内容とこれまでの進路選択の経緯をお話していただいているこのプロジェクトでは、目下、出前講義をしてくださる女子大学院生を募集しています。講師として参加すると、学会発表などにも役に立つプレゼンテーション能力を修得でき、自分の経験を振り返ることにより自身の研究の社会的意義を再認識できます。

ランチタイム カモミール・カフェ

— 出前講義説明会開催 —

日にち： 4月26日 (水)
 時間： 12:10~12:50
 場所： カモミール・カフェ
 (大学会館2F 生協中央店前)

昼食をご持参
 ください♪

みなさまのご参加をお待ちしています。

岐阜大学
 サイエンス夢追い人育成プロジェクト
 (女子大学院生による出前講義)
女子大学院生募集

サイエンス夢追い人育成プロジェクトは、女性研究者の育成および視野拡大を目的に、女子大学院生が県内の中・高等学校に赴き、これまでの進路選択における経験や研究内容について講義を行うものです。
 現在、参加メンバーを募集しています。皆様からのご応募をお待ちしております。
 まずは経だけという方も、お気軽にご連絡ください。

参加するメリット

- コミュニケーション能力が向上する
- プレゼンテーション能力が向上する
- 自分の研究の社会的意義を再認識できる
- 教育経験を通じて活動の幅が広がる
- 学内の研究生同士のネットワークが広がる

教育経験を通じて、自身のスキルアップを目標、また、長年経験は豊富に共同参加希望者のスタッフがサポートいたします。

申し込み方法 所属、氏名、連絡先を、メールまたは電話にて、男女共同参画推進室までお知らせください。

申し込みの必須アイテム 岐阜大学 男女共同参画推進室
 TEL: 058-253-3397 E-mail: minkan@sfu.ac.jp
 URL: http://www1.sfu.ac.jp/~minkan/

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



仕事と介護の両立に向けて



「仕事と介護の両立に向けて」（左）と岐阜大学制度（右）を岐阜大学構成員の皆様に配布しました。

介護はどなたにとっても身近な問題で、ある日突然対応を迫られることが多いのが現実です。「うちの両親は元気だし」という今から、いざという時に備えましょう。これらの資料をぜひともご活用ください。

↓ 岐阜大学の制度



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



リーダーシップ研修



3月6日（月）全学共通教育棟アクティブ・ラーニング教室にて、小林洋子氏（NTTコミュニケーションズ株式会社 常勤監査役/21世紀職業財団特任講師）を講師にお迎えしておこなったリーダーシップ研修に、岐阜大学、岐阜薬科大学、岐阜女子大学、アピ(株)から計45名が参加しました。

どんな難しい仕事を与えられても返事はいつでも「ハイ、喜んで！」であるべきで、「私よりふさわしい人がいる」などと辞退するのは、後に続く女性たちのチャンスをつぶすこととなる…など、研修は終始ポジティブな雰囲気の中でおこなわれました。参加者からは「私なんて…と自信がない…でしたが、自分にもできるかな？と思えました。自分自身の人生をプロデュース、考えてみたいと思いました。」といった前向きな感想が寄せられました。





人財バンク / 研究補助員配置制度

男女共同参画推進室では、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」のプロジェクトの一環として、研究補助員等を求める本学の研究者のみならず、共同実施機関（岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社）の研究者からの人材照会に応じるとともに、研究を中断している女性研究者が研究補助員等としてその専門性をいかして再チャレンジすることを支援する**人財バンク**を運用しています。また、女性研究者の両立支援の一環として、出産・育児、介護等により研究時間の確保が困難な研究者へ実験や講義の準備等を補助する者を配置し、育児や介護等と研究との両立を支援する**研究補助員配置制度**があります。（申請資格条件を満たす男性研究者も利用可能です。）

今回ご紹介する田中加蓉子さんは、2014年に人財バンクに登録し、人財バンクからの紹介で、研究補助員配置制度により研究補助員として勤務された後、医学部で研究補佐員として採用され、現在に至っています。



研究室でピペットを扱う田中さん

— はじめに「人財バンク」に登録されたきっかけについてお聞かせください。

子供たちが入園するのをきっかけに、自分の分野で社会復帰できたらという思いから登録しました。

— 「人財バンク」からの紹介で「研究補助員配置制度」による研究補助員（男女共同参画推進室採用）となり、その後、医学部採用での研究補佐員として勤務される中での子育て生活、研究の場への再チャレンジ、教授や同僚との関わり等についてお聞かせください。

勤務時間について最初は9：00～14：45で週4日から始まりました。5年間のブランクで頭の中は完全にショートした状態で全く考えが回らない自分にびっくりしましたが、一緒に仕事をしながら教えてくださった先輩がとても気さくで明るい方で、楽しく仕事をさせていただきました。先生方も優しくて尊敬できる方ばかりで、ありがたく思っております。子育てについては、復帰まで毎日子供達に振り回されていましたが、職場で自分のペースで仕事をする事でストレス発散しています。基本的に残業がないので、家庭も疎かにせず仕事とのバランスが取れています。実験補助の仕事については、専門分野も違うので最初は分からないことだらけで、今でも分からないことばかりですが、研究室の博士から少しずつ方法を教えていただき、とても勉強になっています。

<つづく>

— 人財バンク —

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/activity/07.html>

— 研究補助員配置制度 —

<http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/activity/05.html>

カモミール・ミーティング

3月17日（金）理系女子大学院生がカモミール・カフェに集まり、研究室での女性ならではの悩みなどを明るく楽しく語り合い交流を深めました。



保育園たより

ひな祭り会



3月3日



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL： <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3378 FAX：058-293-3396 E-mail： sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願います。